

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月10日 ～ 令和7年 12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月10日 ～ 令和7年 12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員全員が専門の資格を取得しており、専門的な部分から支援の向上が期待される。	・それぞれの視点から支援の情報共有・提供を行っている。	・会議を設け職員全員が利用者様ひとり一人の情報共有や理解を図る。
2	・移行支援で各保育園・幼稚園に出向き様子見学、先生達との情報共有、提供、理解を深めている。	・保護者様からの相談を受けて、早い段階で予定を組み園へ出向いたり、逆に支援の様子をみて頂いたり工夫をしている。	・一度行けばいいのではなく、継続していく。
3	・個別療育のみではなく、小集団療育を月1回～行っている。	・同じ内容にならないように工夫している。 ・季節に合った創作活動を取り入れている。	・利用者様が楽しんで活動が行えるよう工夫を凝らしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の保育所や幼稚園へ出向き、利用者様の園での様子を見学・情報共有、提供、理解を行うことは出来ているが、地域の中で他のこどもと活動する機会はない。	・1時間の個別療育になるので、どうしても限りがあると思われる。	・地域との連携を図ることはよいことだと感じている。 ・防災訓練では地域の警察署と連携し訓練を行うことができているので継続していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

17

回収数

17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0	・就学に向けた支援を早めにスタートしてほしい。	・お子様の発達段階に合わせて、保護者様の意見も取入れながら課題に取り組んでいきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	9		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	1	6	・回数が足りないような感じがする。	・防災訓練は毎月1回実施しております。全部が利用者様との参加型ではありませんがその月で訓練参加の声掛けをする時がありますので、その時はご協力のほどよろしくお願いいたします。訓練の様子は下駄箱上の壁に掲示してあります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	3	0	4		・契約時にお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	0	0	・園との関係機関連携をお願いしたい。	・必要に応じて関係機関連携を行っております。FB時など職員に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ブースを有効に使うことができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		安定的に支援を行うために増やしていきたい。 (R8.4月以降増員の予定)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ブースをパーティションで区切り、それぞれわかりやすいように動物の名前をつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に掃除を行っている。また長期休み前は大掃除を行こなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室の部屋があるので、必要に応じて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、事業所アンケートを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議等で意見等を話す機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部評価はしてないですが、内部監査を年2回行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間スケジュールを立てて研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援計画に沿った支援プログラムを作成し支援後のフィードバック時に保護者様に説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを行い、ニーズや課題を分析し計画作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を設け、職員間で共通理解されている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有されて、計画に沿った支援が行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動の様子や指定されたツールを用いてアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で連携を取りながら、適切な支援内容を設定することができている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数担当の利用者様や小集団療育時に行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の発達に合わせて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援での様子もみながら、小集団療育も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずではないですが、ケース会議、空き時間を利用して情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ずではないですが、ケース会議、空き時間を利用して情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は必ずとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度の割合で行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管・担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や園など、連携して支援を行う体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて各関係機関に出向き、情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて各関係機関に出向き、情報共有と相互理解を図っている。 サポートブック作成で情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			スーパーバイズや助言等を受ける機会はないが、外部研修にて講師の方から助言をいただくことはある。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の中で他のこどもと活動する機会はないが、今後の課題となる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック時に保護者様とお話をさせて頂いている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		教室内に研修のチラシなど掲示している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にお伝えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時にお伝えしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に相談、助言をしている。また、場合によっては別時間で家族支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様も含めた交流課題を行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の調整をし、相談に応じている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、ブログやInstagramで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各それぞれのマニュアルがあり周知できている。また訓練も研修の中に組み込まれている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		研修委員会が主となって訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様から服薬、てんかん発作等の情報を聞き、状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事の提供はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修・訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの前に想定できる危険行動等に対応することを職員間で話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会があり研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		支援計画に記載している。	